第11回 日仏の翻訳者を囲んで

中村佳子氏を囲んで

聞き手：丸山有美氏（フリー翻訳者・ライター、雑誌『ふらんす』前編集長）

2019
5.22
水
18:30
20:00

日仏会館図書室
使用言語：日本語
定員 20名

お申込み方法：下記のメールアドレスに、お名前、ご所属、ご連絡先を明記して、件名を「日仏の翻訳者を囲んで」としてお申込みください。図書室業務は18時で終了いたしますが、開催時間まで図書室をご利用いただけます。

連絡先：日仏会館図書室
〒150-0013 渋谷区恵比寿3-9-25 日仏会館3F
Tel：03-5421-7643
Fax：03-5421-7653
中村佳子氏

プロフィール

広島大学文学部哲学科卒業後、地元の広告代理店で、コピー制作や企業機関誌等の編集に携わる。その後、東京日仏学院、アテネ・フランスでフランス語を学び、翻訳を始める。2000年、パトリス・ルコント監督『サン・ピエールの生命』のノベライズ本で初の出版翻訳を手掛けて以降、フランス文学翻訳家として活躍中。

主な翻訳

フレデリック・ペグペグ『世界不死計画』河出書房新社 2019
ブアレム・サンサル『2084：世界の終わり』河出書房新社 2017
バランザック『ゴリオ爺さん』光文社 2016（光文社古典新訳文庫）
コンスタン『アドルフ』光文社 2014（光文社古典新訳文庫）
ミシェル・ウエルベック『ある島の可能性』角川書店 2007河出書房新社2016（河出文庫）
ミシェル・ウエルベック『闘争領域の拡大』角川書店 2004 河出書房新社 2018（河出文庫）
ほか